

## 第45回 景気動向レポート

2023年1~3月期

### ○概要

調査時期 令和5年3月上旬  
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、  
 伊勢原市、秦野市、座間市、  
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先  
 回答先数 当金庫取引先 315先  
 (内訳) 製造業：63先  
 卸売業：19先  
 小売業：47先  
 サービス業：73先  
 建設業：83先  
 不動産業：30先

回答率 98.7%

### ○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、  
 調査先による直接記入・回収方式

### ○分析方法

DI (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」  
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」  
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、  
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

### 業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2022年 1-3月期	2022年 4-6月期	2022年 7-9月期	2022年 10-12月期 (前期)	2023年 1-3月期 (当期)	2023年 4-6月期 (予想)
製造業	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
卸売業	⇒ ☂	⇒ ⬆	⇒ ⬆	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
小売業	⇒ ☂	⇒ ⬆	⇒ ⬆	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
サービス業	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
建設業	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
不動産業	⇒ ⬆	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁
全業種	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁	⇒ ☁



# 全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上D I は悪化、収益D I は改善の見込み

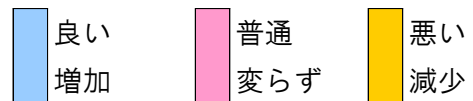
2023年1～3月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比▲3.5ポイントの▲2.2と悪化。卸売業・小売業・建設業・不動産業が改善、製造業・サービス業は悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲16.5ポイントの0.0となり、収益DIは対前期比▲17.4ポイントの▲15.8となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比▲8.2ポイントの22.0となり7期ぶりの低下、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+2.4ポイントの59.0となり3期ぶりの上昇、資金繰りDIは対前期比▲5.1ポイントの▲11.1と2期連続の低下となりました。

来期（2023年4～6月期）の業況予想では、サービス業・不動産業を除く全業種で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲1.9ポイントの▲4.1と悪化を見込んでいます。

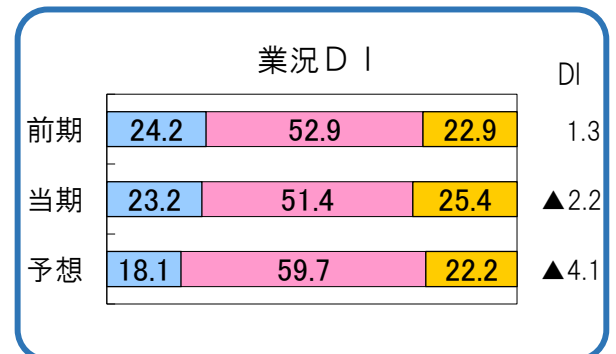
## 主要D I 構成



### ○業況D I



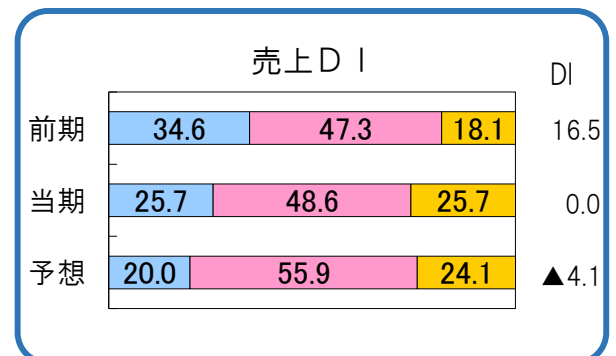
業況DIは、対前期比▲3.5ポイントの▲2.2(前年同期▲14.4・前回予想との差+2.6)となりました。今後の業況DIは、サービス業・不動産業を除く全業種で悪化を予想しており、対当期比▲1.9ポイントの▲4.1と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



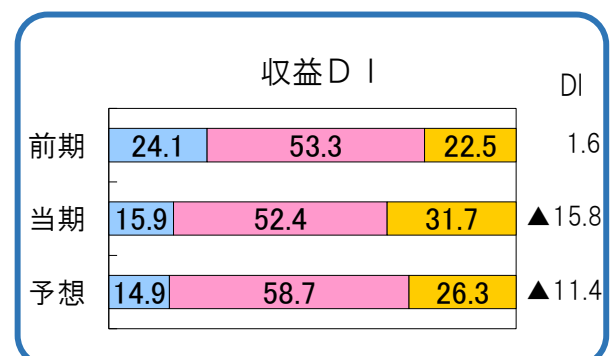
売上DIは、対前期比▲16.5ポイントの0.0(前年同期▲8.8・前回予想との差▲1.9)となりました。卸売業を除く全業種で悪化したことから、売上DIは大幅な悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比▲4.1ポイントの▲4.1と悪化を見込んでいます。



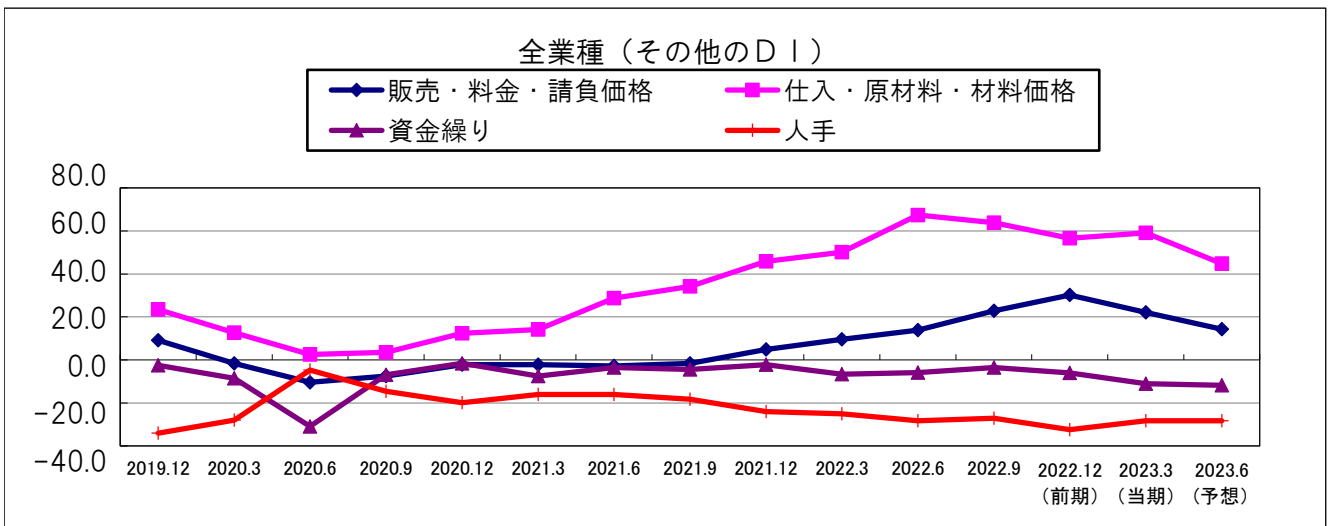
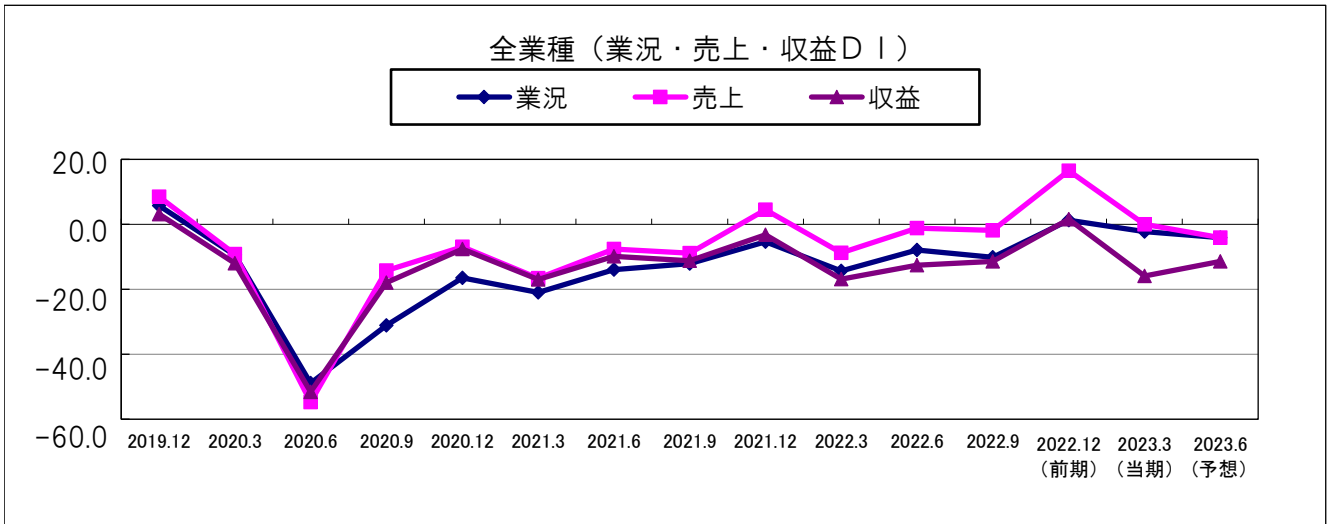
### ○収益D I



収益DIは、対前期比▲17.4ポイントの▲15.8(前年同期▲16.9・前回予想との差▲10.1)となりました。不動産業を除く全業種で悪化したことから、収益DIは大幅な悪化となりました。今後の収益DIは、対当期比+4.4ポイントの▲11.4と改善を見込んでいます。



DIの推移



販路拡大の相談は信用金庫へ

信用金庫業界の地域商社

「しんきん地域ネット」が販路拡大をサポートします！

①まずは無料相談

- ✓ 商品サンプルを踏まえ、無料でWeb会議を実施
- ✓ 市場動向や商品ブラッシュアップをアドバイス

②有料メニュー

- ✓ 営業代行
- ✓ ビジネスフェア
- ✓ パッケージデザイン支援
- ✓ テストマーケティング・プロモーション支援 e.t.c.

詳しくは、最寄りの平塚信用金庫までお問い合わせください！

TRi**bank** Hiratsuka  
平塚信用金庫

しんきん地域ネット

しんきん地域創生ネットワーク株式会社



HP



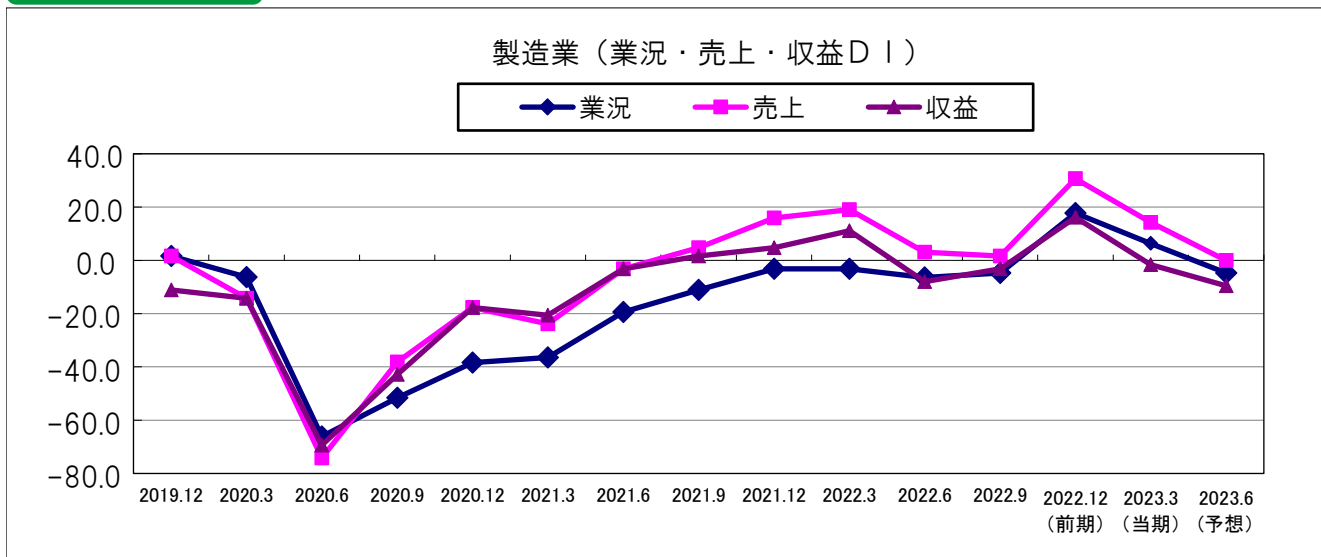
Twitter

# 製造業

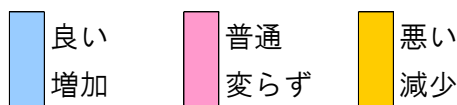
今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



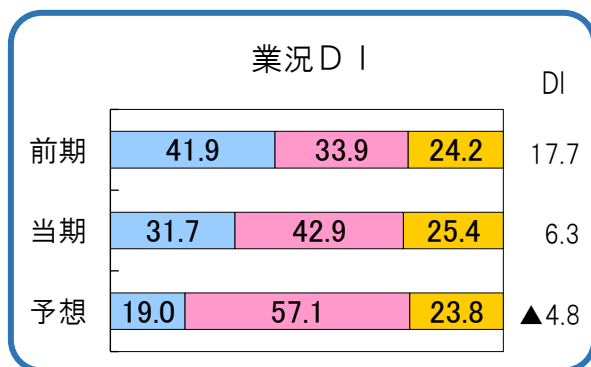
## 主要D I 構成



### ○業況D I



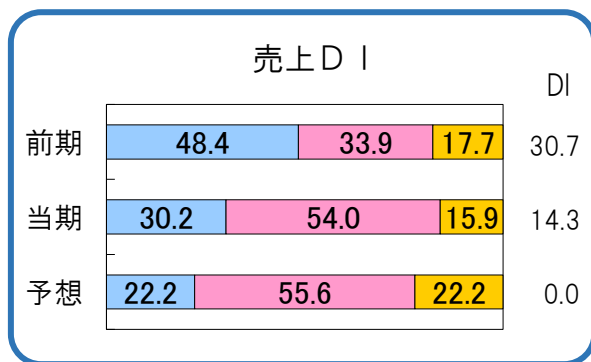
業況DIは、対前期比▲11.4ポイントの6.3(前年同期▲3.2・前回予想との差+7.9)と3期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲11.1ポイントの▲4.8と大幅な悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



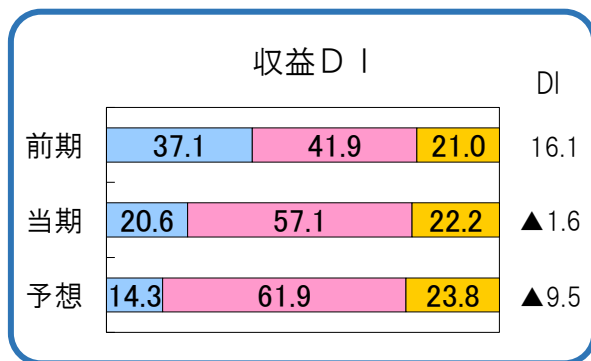
売上DIは、対前期比▲16.4ポイントの14.3(前年同期19.1・前回予想との差+16.0)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲14.3ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます。



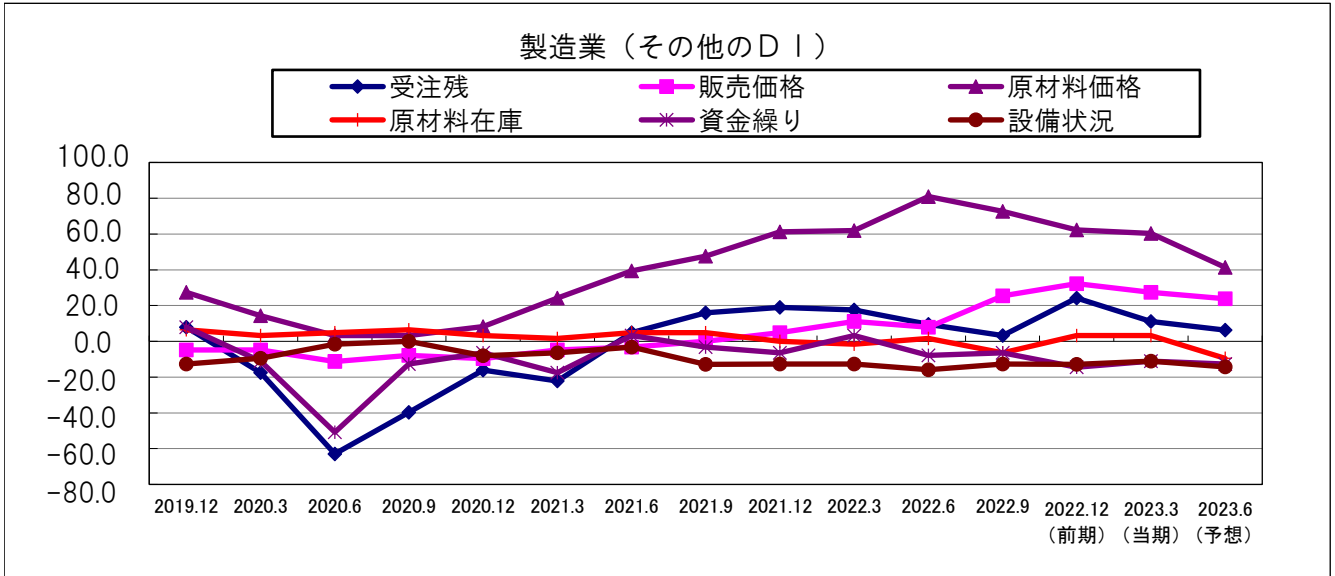
### ○収益D I



収益DIは、対前期比▲17.7ポイントの▲1.6(前年同期11.1・前回予想との差+3.3)と3期ぶりの悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲7.9ポイントの▲9.5と悪化を見込んでいます。



その他のD I 推移

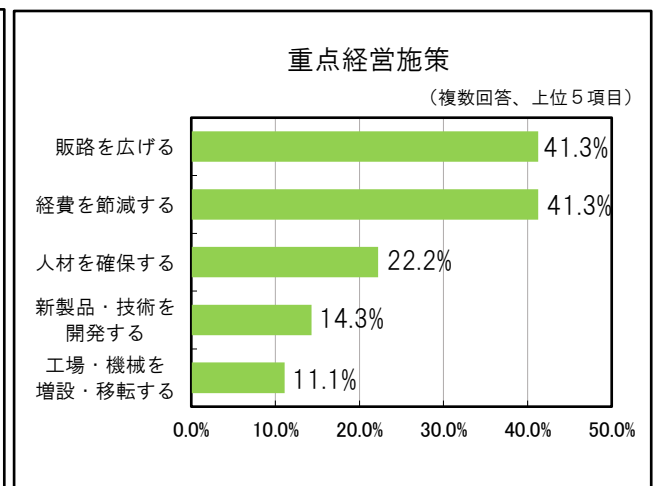
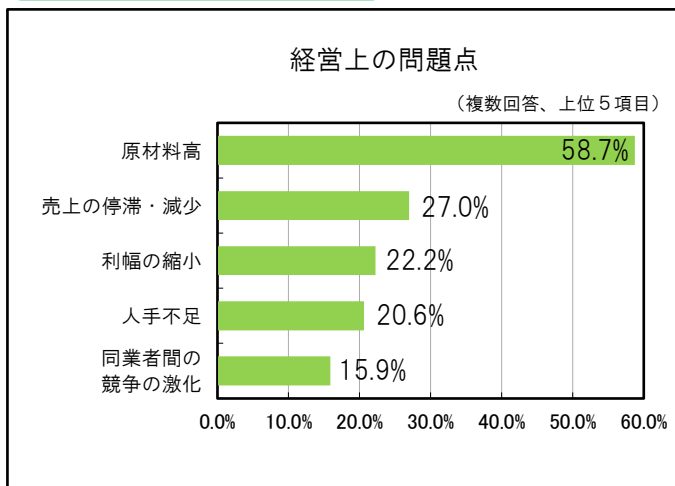


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲13.1ポイントの11.1、販売価格DIは▲4.9ポイントの27.4、原材料価格DIは▲2.0ポイントの60.3、原材料在庫DIは▲0.1ポイントの3.2、資金繰りDIは+3.4ポイントの▲11.1、設備状況DIは+1.8ポイントの▲11.1となりました。

今後は、受注残DI・販売価格DI・原材料価格DI・原材料在庫DI、資金繰りDI・設備状況DI全てで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が58.7%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」27.0%、「利幅の縮小」22.2%、「人手不足」20.6%、「同業者間の競争の激化」15.9%となりました。

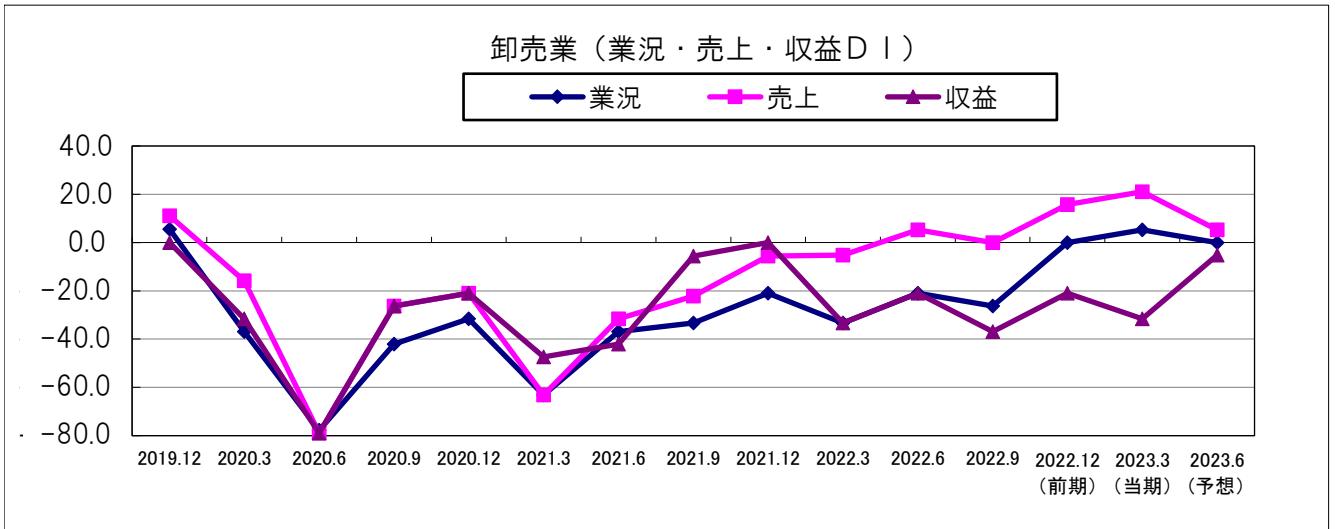
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」「経費を節減する」が共に41.3%と最も多く、次いで「人材を確保する」22.2%、「新製品・技術を開発する」14.3%、「工場・機械を増設・移転する」11.1%となりました。

# 卸売業

今期：業況・売上D Iは改善、収益D Iは悪化  
 来期：収益D Iは改善、業況・売上D Iは悪化の見込み

## 主要D I 推移



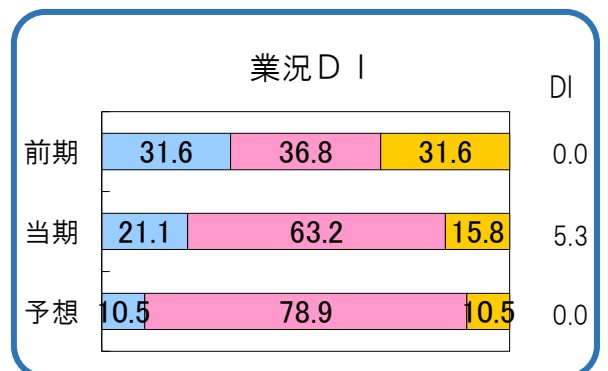
## 主要D I 構成



### ○業況D I



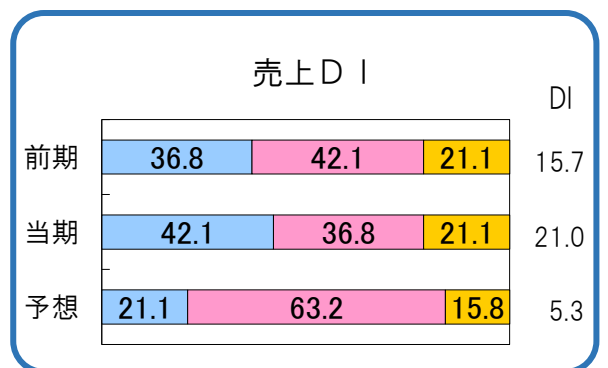
業況DIは、対前期比+5.3ポイントの5.3(前年同期▲33.3・前回予想との差+15.8)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲5.3ポイントの0.0と悪化を見込んでいます。



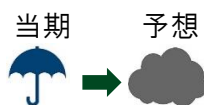
### ○売上D I



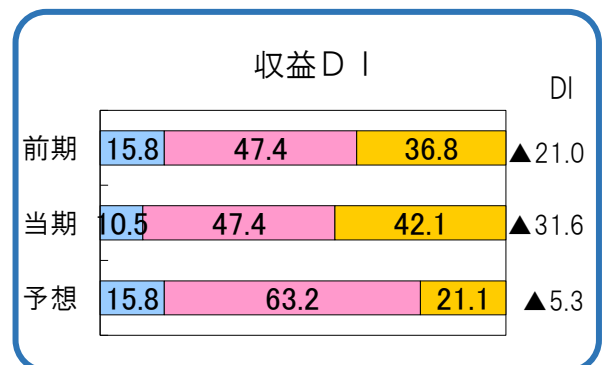
売上DIは、対前期比+5.3ポイントの21.0(前年同期▲5.3・前回予想との差+10.5)と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲15.7ポイントの5.3と大幅な悪化を見込んでいます。



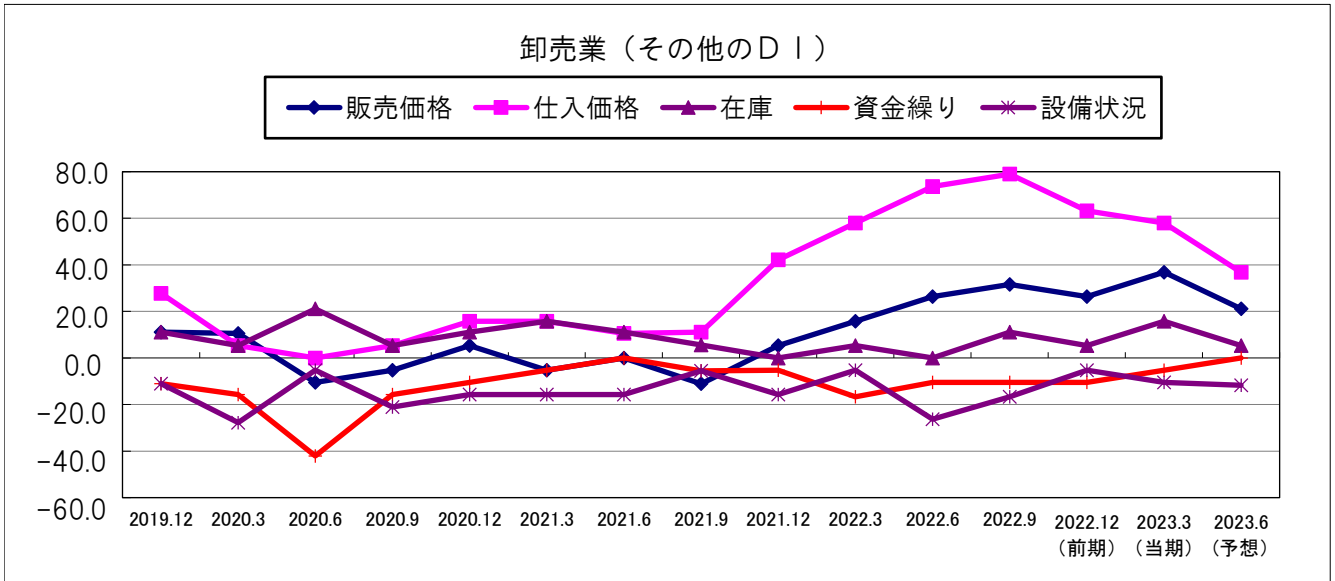
### ○収益D I



収益DIは、対前期比▲10.6ポイントの▲5.3(前年同期▲33.3・前回予想との差▲26.3)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+26.3ポイントの▲5.3と大幅な改善を見込んでいます。



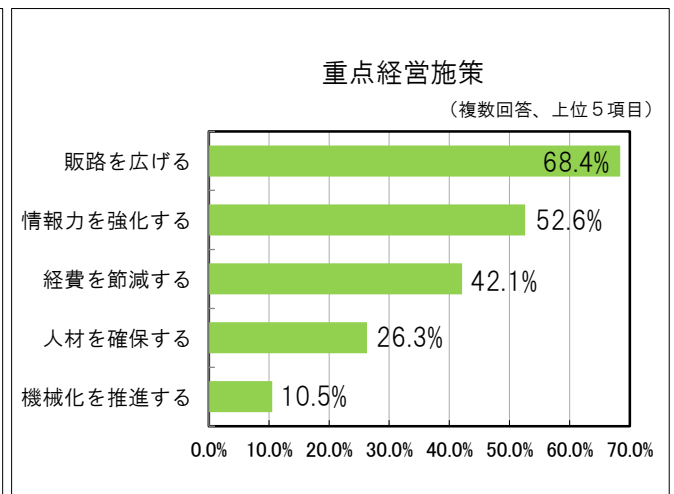
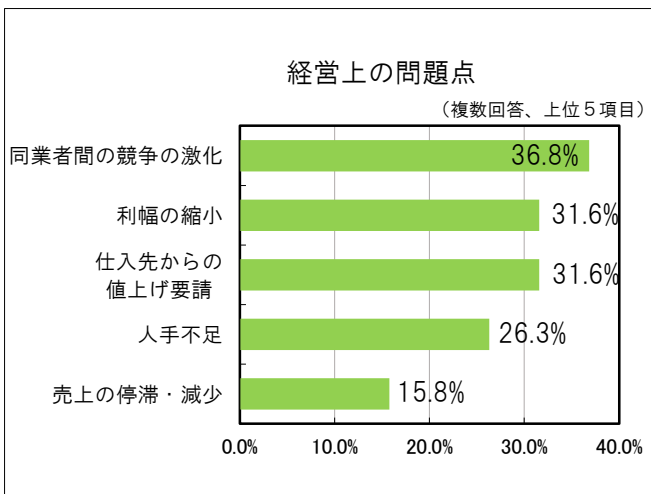
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+10.5ポイントの36.8、仕入価格DIは▲5.3ポイントの57.9、在庫DIは+10.5ポイントの15.8、資金繰りDIは+5.2ポイントの▲5.3、設備状況DIは▲5.2ポイントの▲10.5となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が36.8%と最も多く、次いで「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」が共に31.6%、「人手不足」26.3%、「売上の停滞・減少」が15.8%となりました。

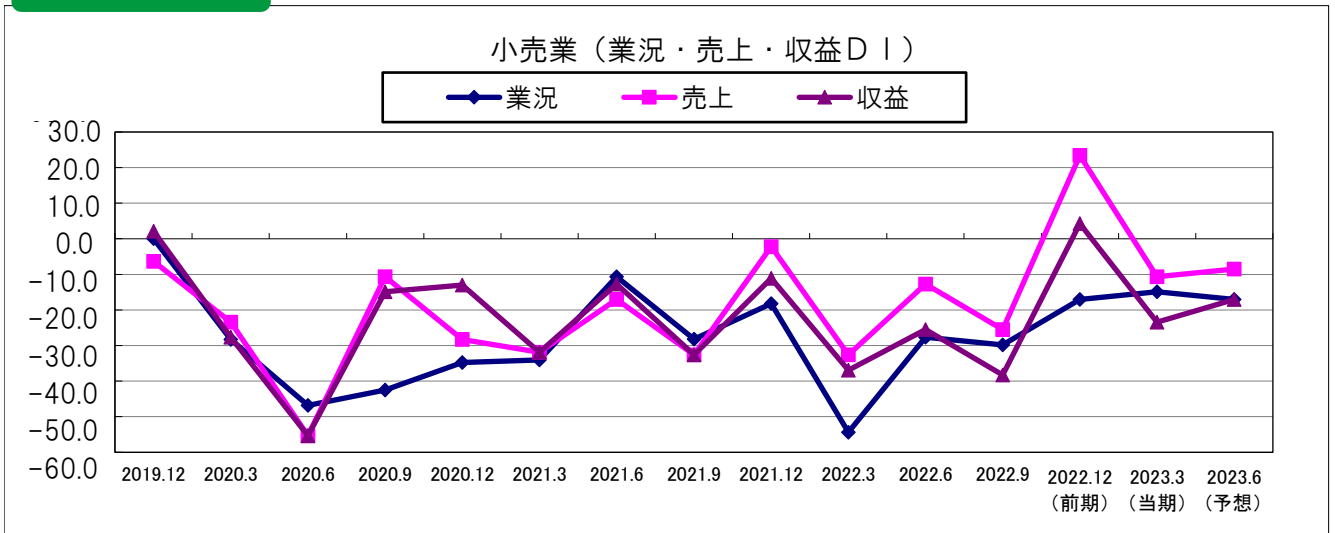
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が68.4%と最も多く、次いで「情報力を強化する」52.6%、「経費を節減する」42.1%、「人材を確保する」26.3%、「機械化を推進する」10.5%となりました。

# 小売業

今期：業況D Iは改善、売上・収益D I共に悪化  
 来期：売上・収益D I共に改善、業況D Iは悪化の見込み

## 主要D I 推移



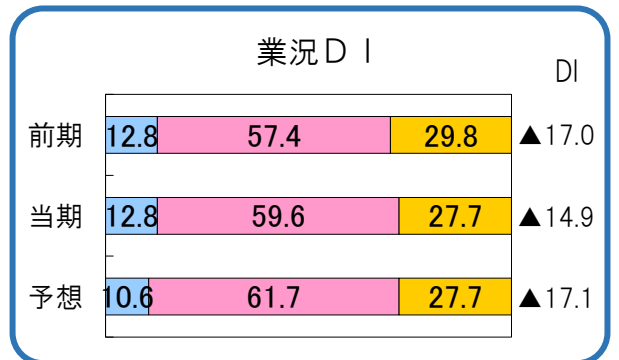
## 主要D I 構成



### ○業況D I



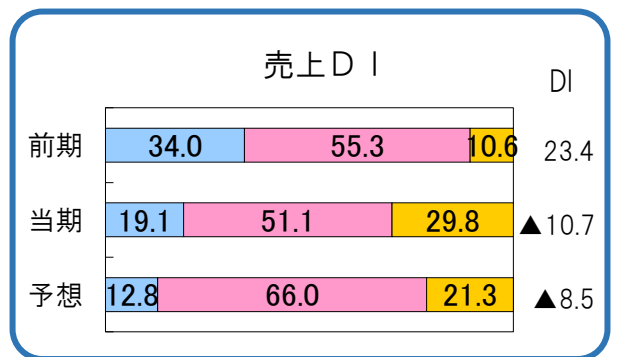
業況DIは、対前期比+2.1ポイントの▲14.9(前年同期▲54.3・前回予想との差+8.5)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲2.2ポイントの▲17.1と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



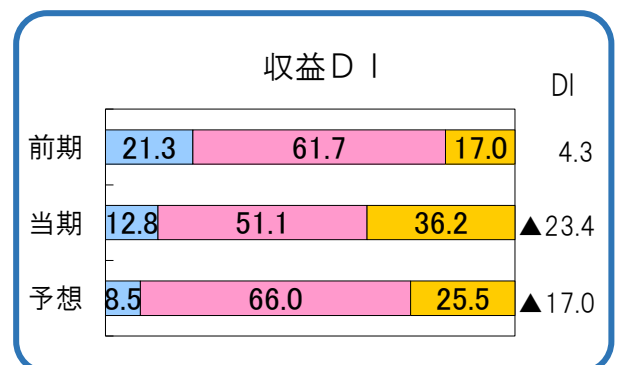
売上DIは、対前期▲34.1ポイントの▲10.7(前年同期▲32.6・前回予想との差▲17.1)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+2.2ポイントの▲8.5と改善を見込んでいます。



### ○収益D I

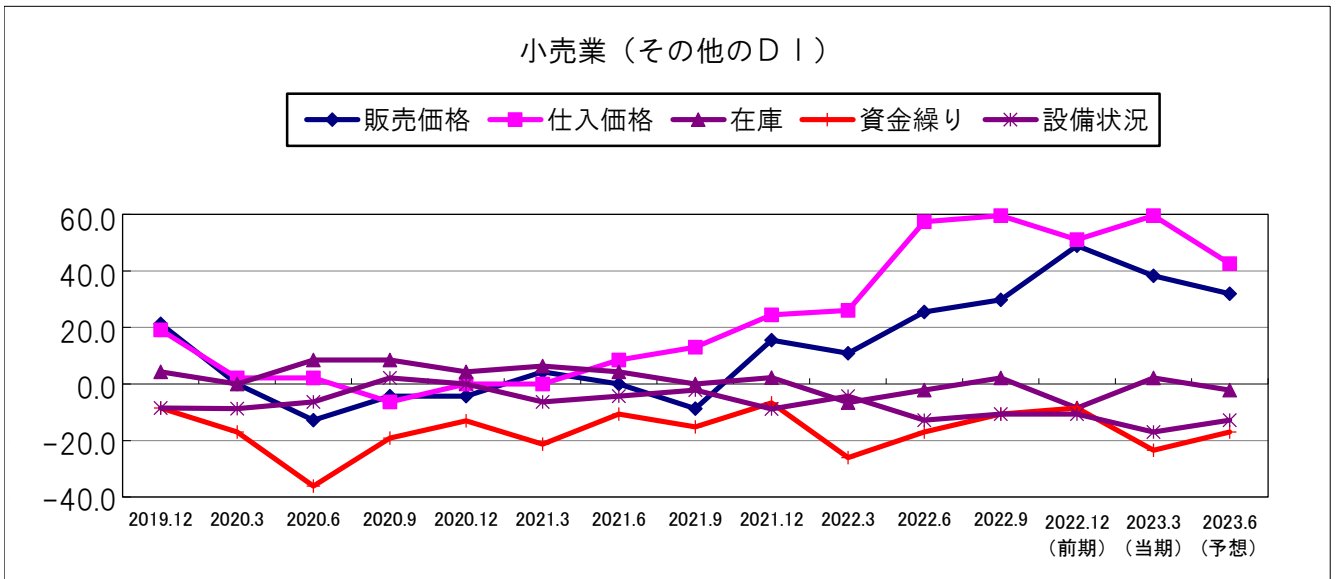


収益DIは、対前期比▲27.7ポイントの▲23.4(前年同期▲37.0・前回予想との差▲21.3)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+6.4ポイントの▲17.0と改善を見込んでいます。





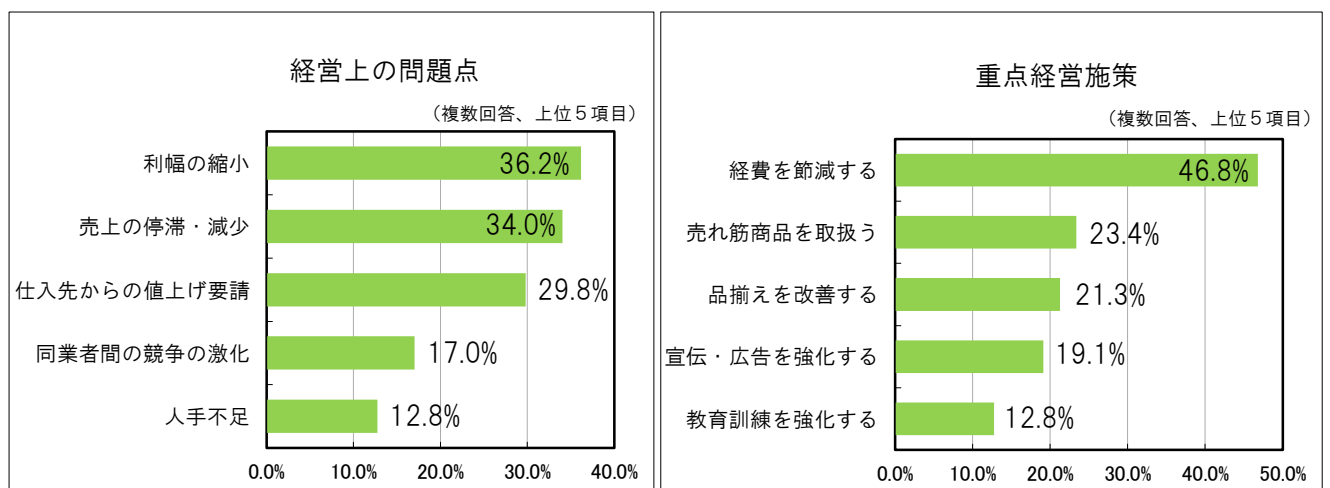
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは▲10.6ポイントの38.3、仕入価格DIは+8.5ポイントの59.6、在庫DIは+10.6ポイントの2.1、資金繰りDIは▲14.9ポイントの▲23.4、設備状況DIは▲6.4ポイントの▲17.0となりました。今後は、資金繰りDI・設備状況DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「利幅の縮小」が36.2%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」34.0%、「仕入先からの値上げ要請」29.8%、「同業者間の競争の激化」17.0%、「人手不足」12.8%となりました。

【重点施策】

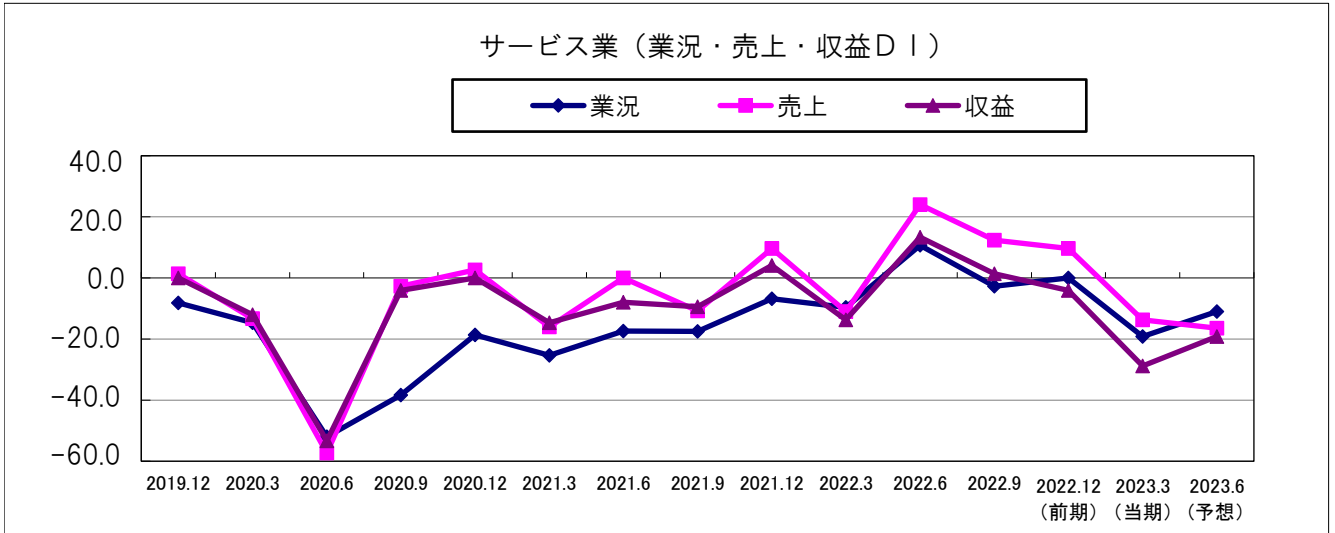
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が46.8%と最も多く、次いで「売れ筋商品を取扱う」23.4%、「品揃えを改善する」21.3%、「宣伝・広告を強化する」19.1%、「教育訓練を強化する」12.8%となりました。

# サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・収益D I は改善、売上D I は悪化の見込み

## 主要D I 推移



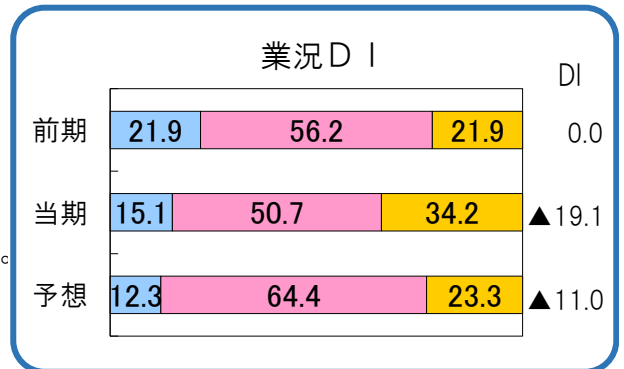
## 主要D I 構成



### ○業況D I



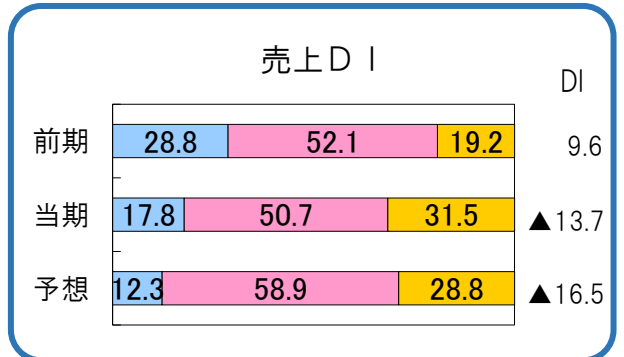
業況DIは、対前期比▲19.1ポイントの▲19.1(前年同期▲9.6・前回予想との差▲13.6)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+8.1ポイントの▲11.0と改善を見込んでいます。



### ○売上D I



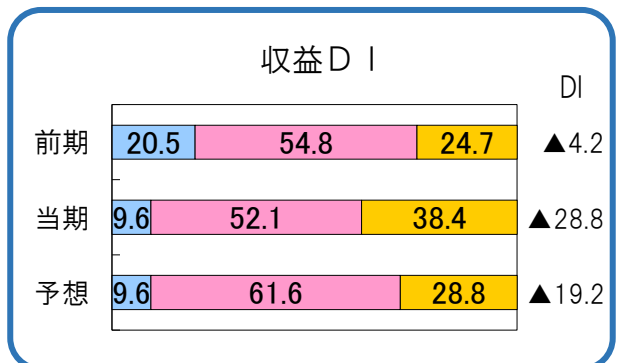
売上DIは、対前期比▲23.3ポイントの▲13.7(前年同期▲11.0・前回予想との差▲13.7)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲2.8ポイントの▲16.5と悪化を見込んでいます。



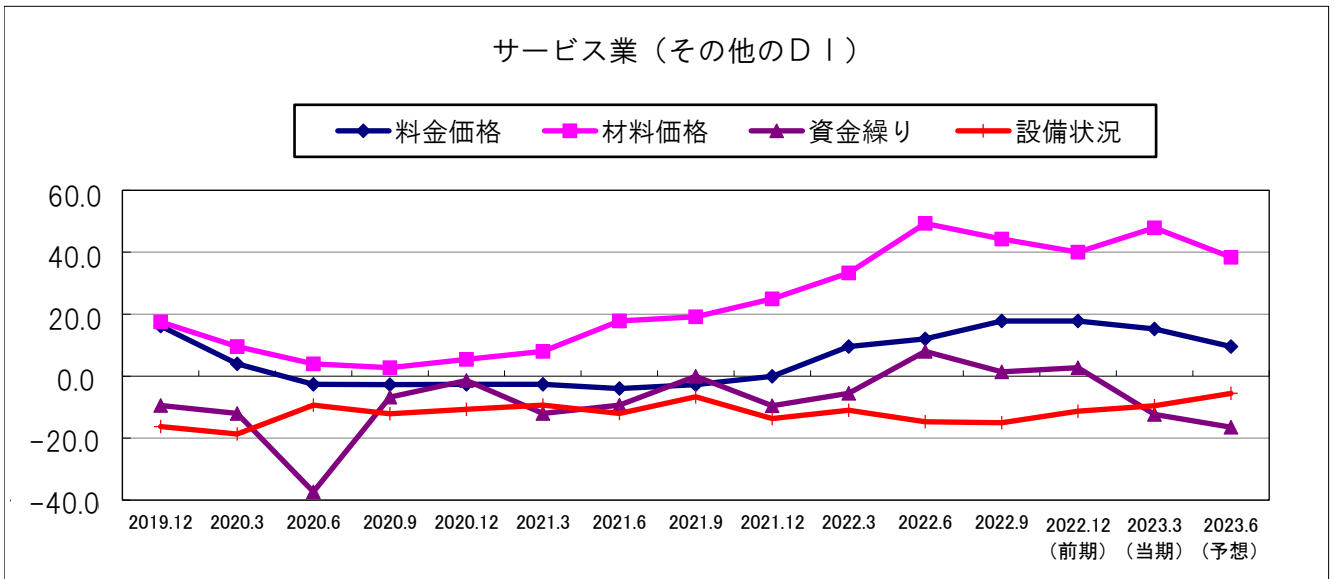
### ○収益D I



収益DIは、対前期比▲24.6ポイントの▲28.8(前年同期▲13.7・前回予想との差▲20.6)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+9.6ポイントの▲19.2と改善を見込んでいます。



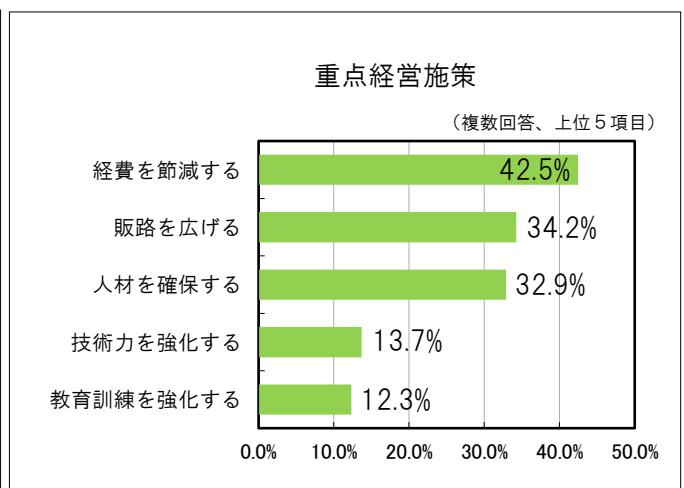
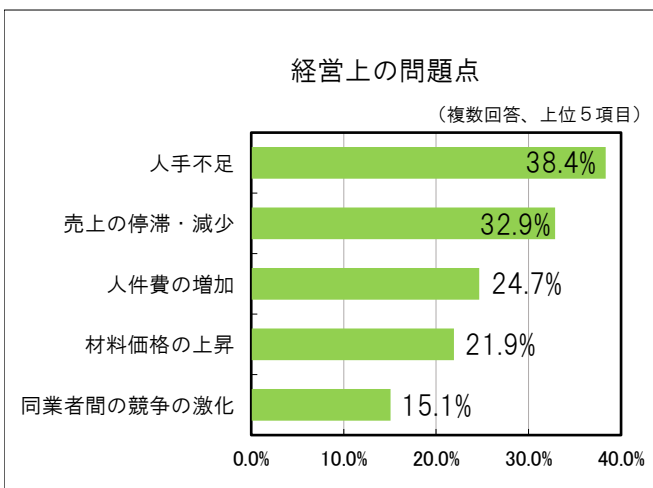
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは▲2.5ポイントの15.3、材料価格DIは+7.9ポイントの47.9、資金繰りDIは▲15.0ポイントの▲12.3、設備状況DIは+1.7ポイントの▲9.6となりました。今後は設備状況DIは上昇、料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が38.4%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」32.9%、「人件費の増加」24.7%、「材料価格の上昇」21.9%、「同業者間の競争の激化」15.1%となりました。

【重点施策】

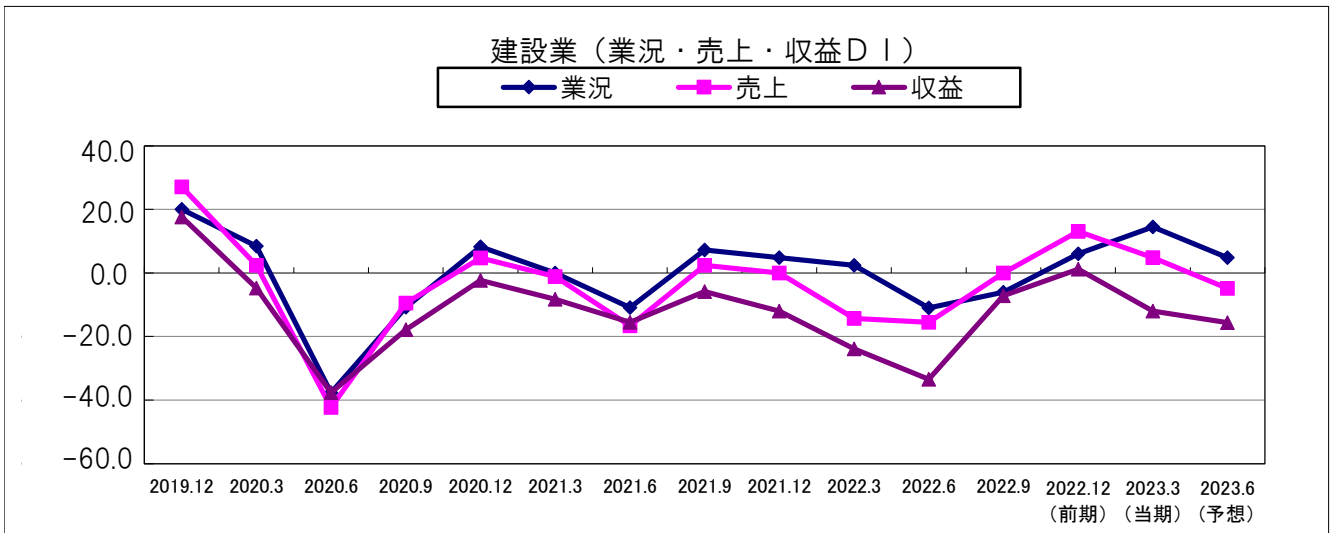
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が42.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」34.2%、「人材を確保する」32.9%、「技術力を強化する」13.7%、「教育訓練を強化する」12.3%となりました。

# 建設業

今期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化

来期：業況・売上・収益DI共に悪化の見込み

## 主要DI推移



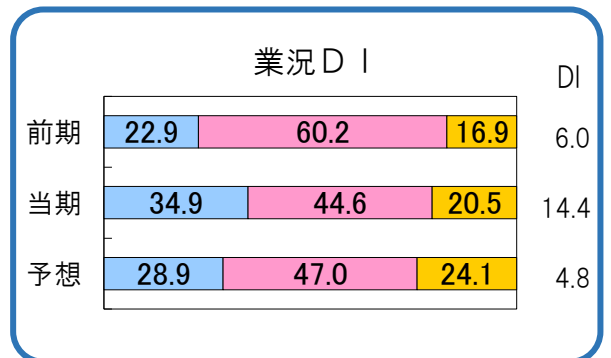
## 主要DI構成



### ○業況DI



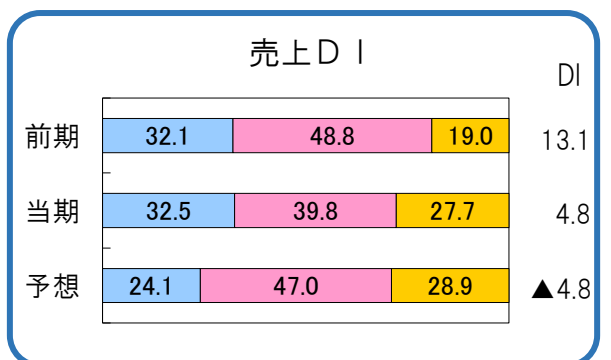
業況DIは、対前期比+8.4ポイントの14.4(前年同期2.4・前回予想との差+13.2)と3期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲9.6ポイントの4.8と悪化を見込んでいます。



### ○売上DI



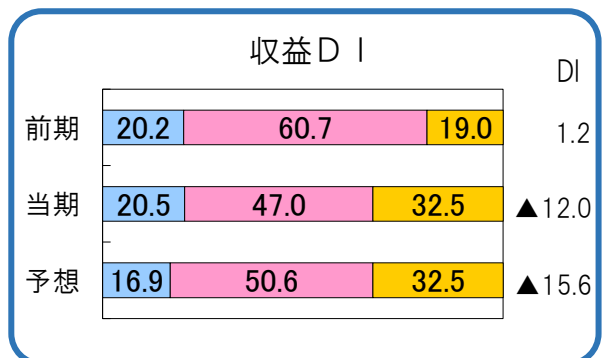
売上DIは、対前期比▲8.3ポイントの4.8(前年同期▲14.3・前回予想との差+2.4)と3期ぶりの悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲9.6ポイントの▲4.8と悪化を見込んでいます。



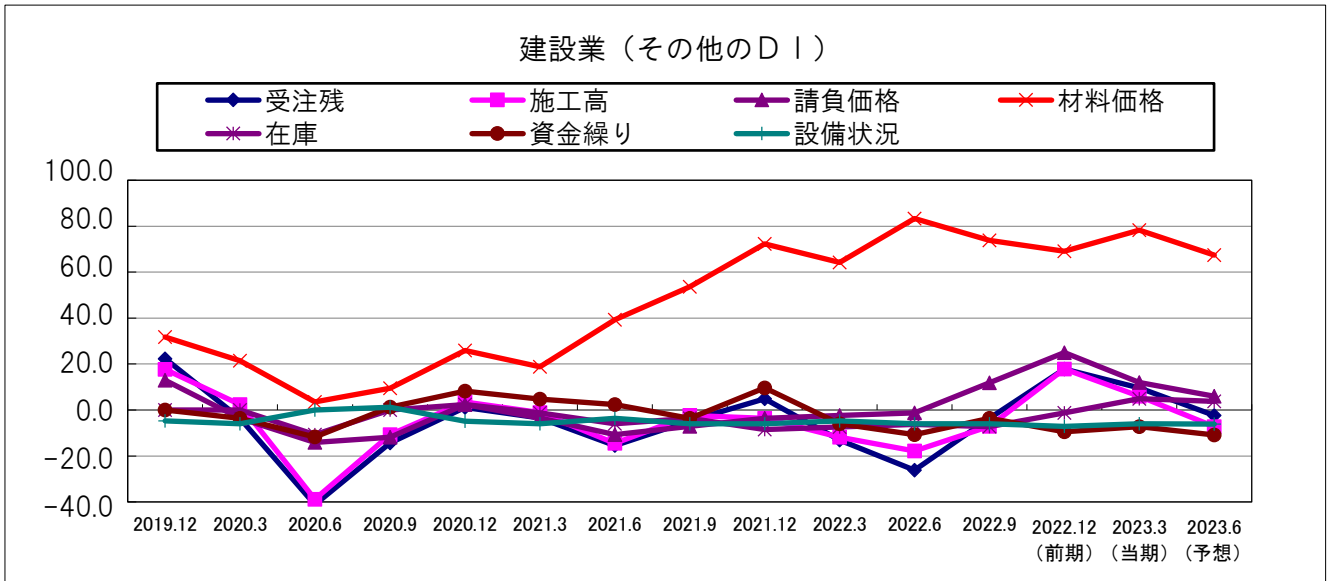
### ○収益DI



収益DIは、対前期比の▲13.2ポイントの▲12.0(前年同期▲23.9・前回予想との差▲8.5)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲3.6ポイントの▲15.6と悪化を見込んでいます。



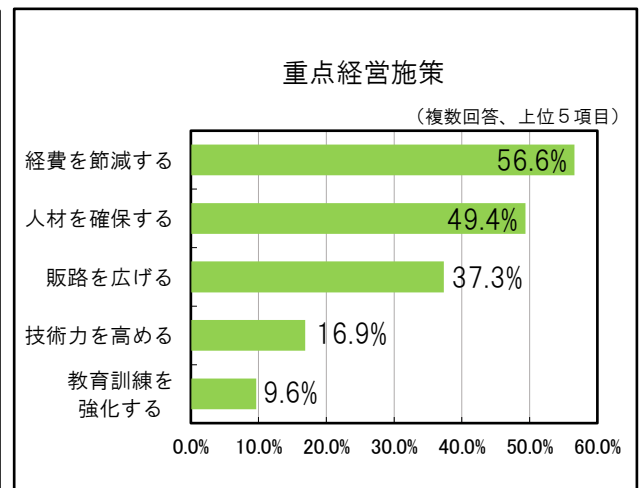
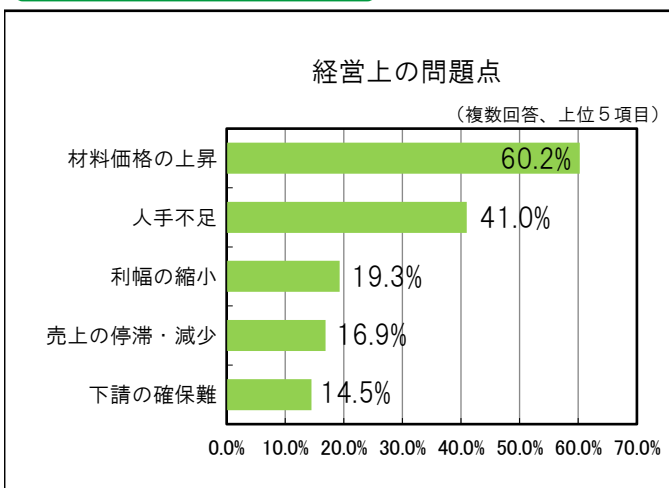
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲8.3ポイントの9.6、施工高DIは▲11.9ポイントの6.0、請負価格DIは▲13.0ポイントの12.0、材料価格DIは+9.3ポイントの78.3、在庫DIは+6.1ポイントの4.9、資金繰りDIは+2.3ポイントの▲7.2、設備状況DIは+1.1ポイントの▲6.0となりました。今後は、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・材料価格DI・在庫DI・資金繰りDI・設備状況DI全てで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が60.2%と最も多く、次いで「人手不足」41.0%、「利幅の縮小」19.3%、「売上の停滞・減少」16.9%、「下請の確保難」14.5%となりました。

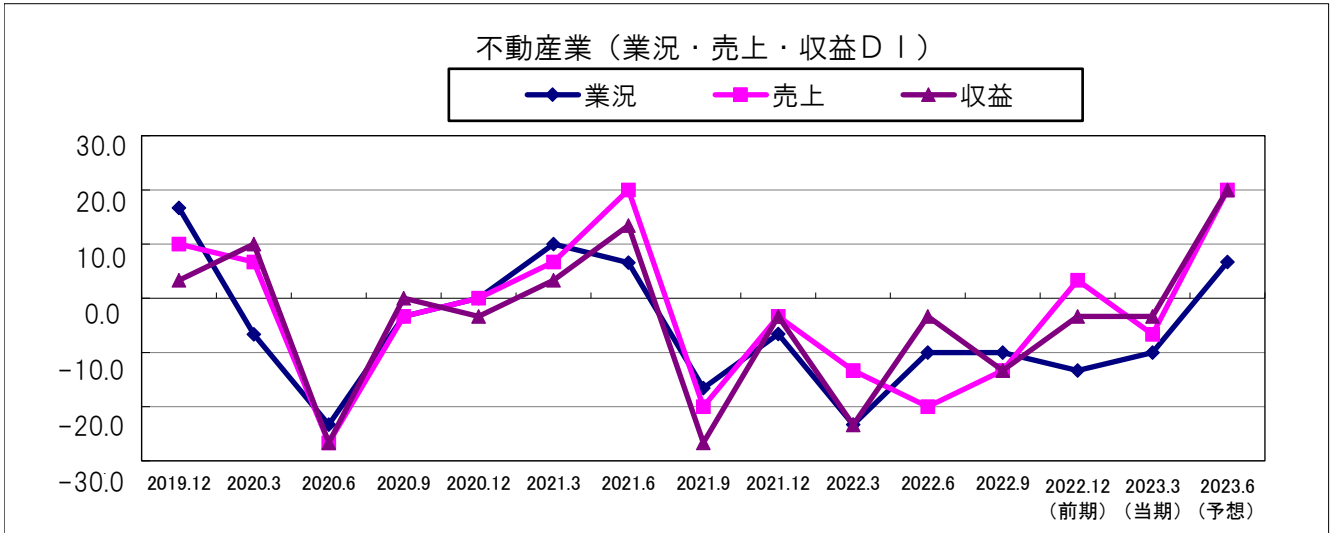
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が56.6%と最も多く、次いで「人材を確保する」49.4%、「販路を広げる」37.3%、「技術力を高める」16.9%、「教育訓練を強化する」9.6%となりました。

# 不動産業

今期：業況DIは改善、収益DIは横這い、売上DIは悪化  
 来期：業況・売上・収益DIともに改善の見込み

## 主要DI推移



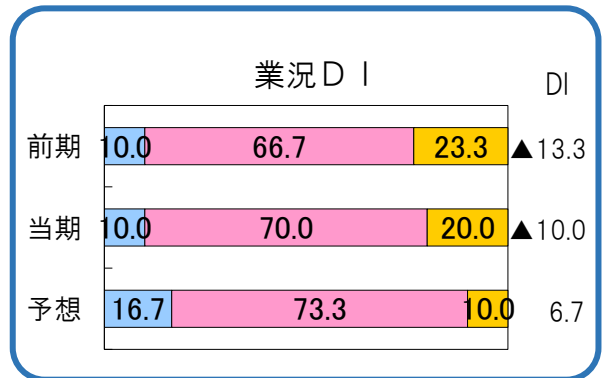
## 主要DI構成



### ○業況DI



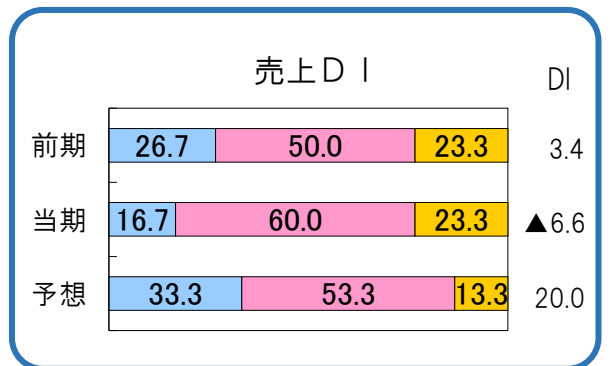
業況DIは、対前期比+3.3ポイントの▲10.0（前年同期▲23.3・前回予想との差▲16.7）の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+16.7ポイントの6.7と大幅な改善を見込んでいます。



### ○売上DI



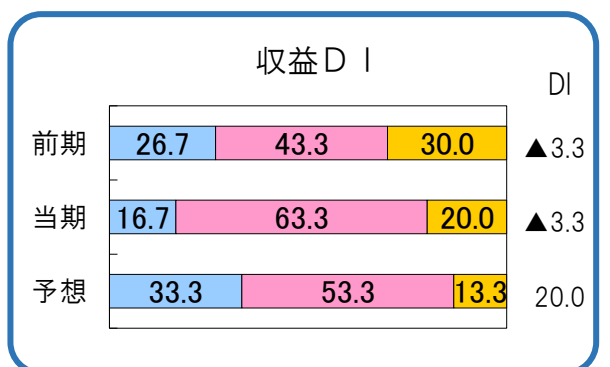
売上DIは、対前期比▲10.0ポイントの▲6.6（前年同期▲13.3・前回予想との差▲6.6）と3期ぶりの悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+26.6ポイントの20.0と大幅な改善を見込んでいます。



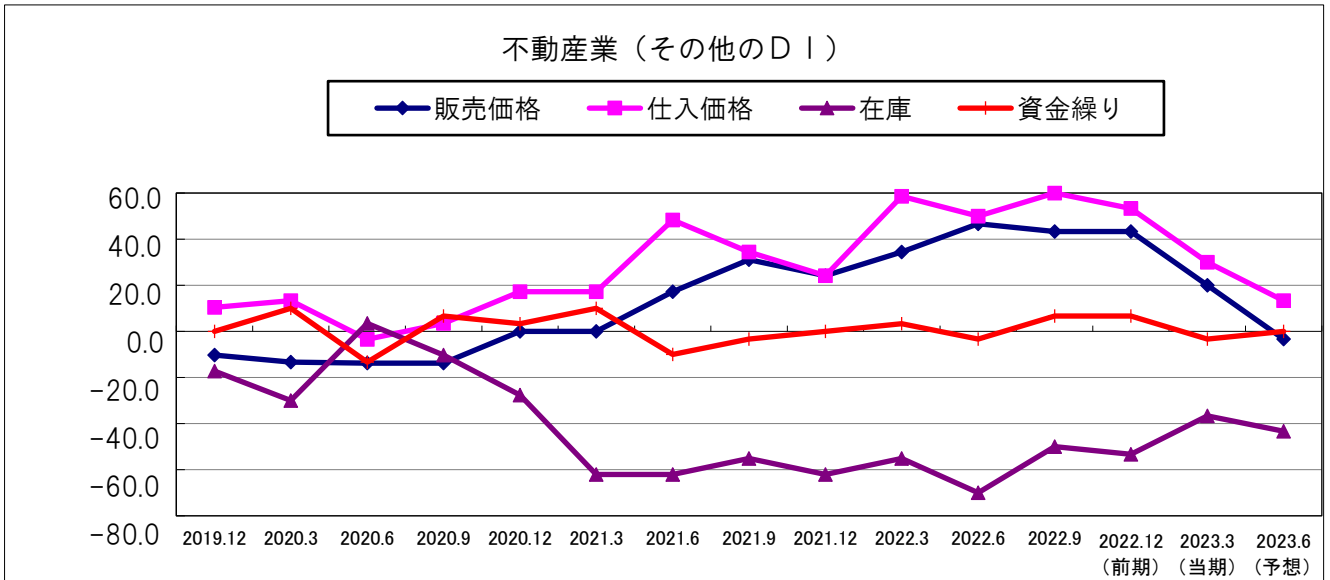
### ○収益DI



収益DIは、対前期比±0.0ポイントの▲3.3（前年同期▲23.4・前回予想との差+10.0）の横這いとなりました。今後の収益DIについては、対当期比+23.3ポイントの+20.0と大幅な改善を見込んでいます。



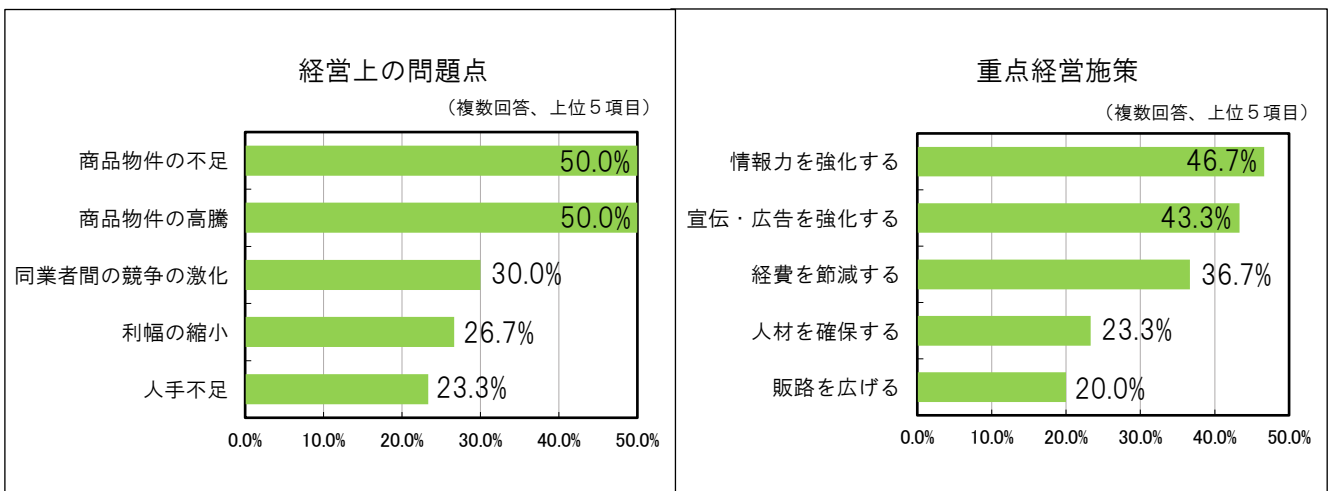
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲23.3ポイントの20.0、仕入価格DIは▲23.3ポイントの30.0、在庫DIは+16.6ポイントの▲36.7、資金繰りDIは▲10.0ポイントの▲3.3となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」「商品物件の高騰」が共に50.0%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」30.0%、「利幅の縮小」26.7%、「人手不足」23.3%となりました。

【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が46.7%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」43.3%、「経費を節減する」36.7%、「人材を確保する」23.3%、「販路を広げる」20.0%となりました。

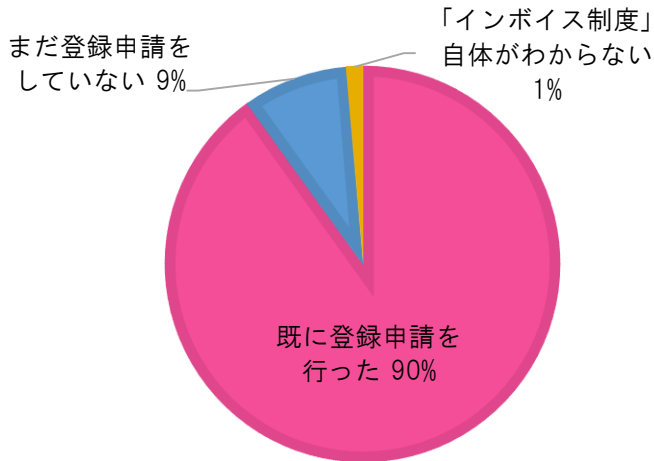
# 特別調査

## 中小企業におけるデジタル化への対応について

単位：(%)

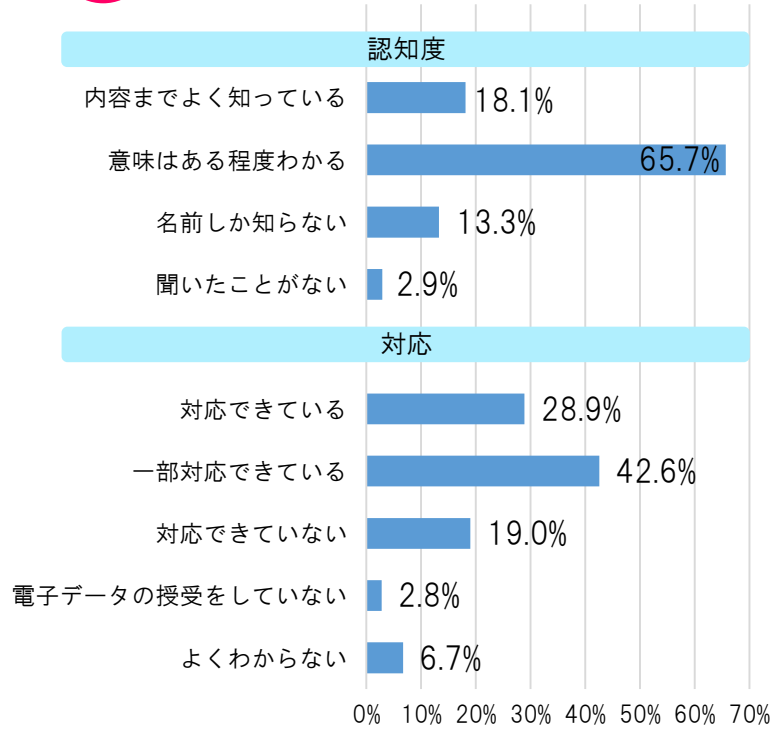
1

2023年10月に開始予定の「インボイス制度」へ向けて、インボイス発行事業者への登録申請にどのように対応していますか。



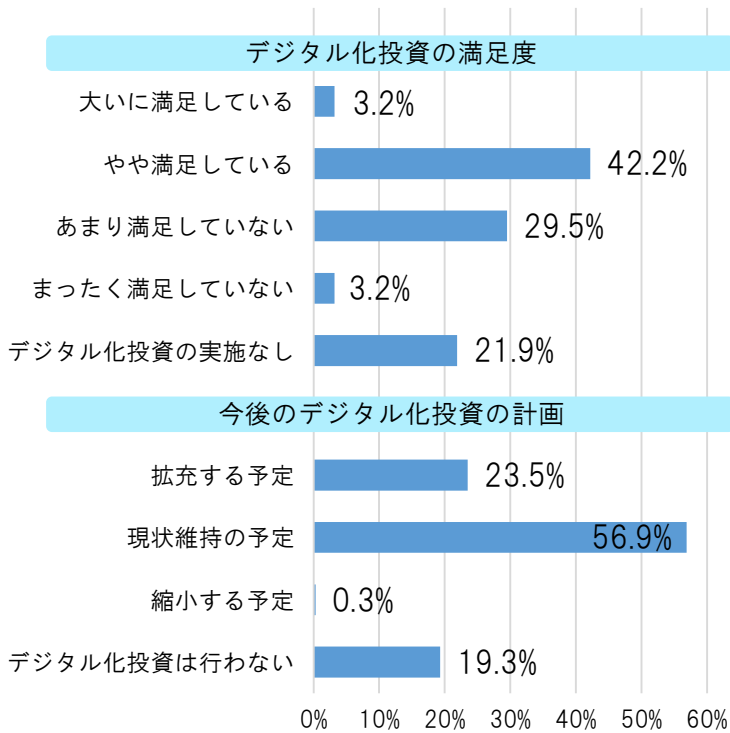
2

電子帳簿保存法（電帳法）の改正について、認知度・対応をお答えください。



3

これまで行ってきたデジタル化投資の費用対効果についての満足度及び今後のデジタル化投資計画についてお答えください。



4

デジタル化を進めるに際しての問題点・課題として、どのようなものが考えられますか。（最大3つまでの複数回答）

